



『日本大判写真展』2021 展示作業メンバー

「日本大判写真展」2021 の反省会

運営委員会

令和3年4月17日(土)、大阪写真会館にて「日本大判写真展」2021の反省会が開催されました。6名の参加者で行い意見をかわしました。



来場者多数ありました

1. 『日本大判写真展』2021は2990名の来場者があり展示会は成功しました。会員皆様の努

力が入場券を多数配布していただいた成果と思います。又、雑誌「風景写真」に展示会案内が掲載された効果と思います。

2. 搬入、展示、当番、搬出、返送作業は会員、会友で行いましたが、人手が不足し一般の方にも作業お願いしました。ワイヤーの取り付けや取り付け位置の調整は高所作業車で行いました。高所作業は一般の方がかなりの部分やってくれました。ありがとうございます。慣れない作業の為、時間がかかりました。
3. 自由作品の部でピントの甘い作品が1点ありました。自己処理作品で色が悪い作品が1点ありました。来年度はこのようなことがない様に厳重に審査しなければなりません。
4. 会期中に無断欠席がありましたがいかがなものかと思えます。過去の記録を見ても同一人物です。

5. 3月22日(月)搬出作業を4名で行い、京都会場から橋本さんの事務所に輸送を行いました。かなりきつく感じました。
6. 3月27日(土)作品返送作業を行いました。当初28日も予定していましたが、この日だけで作業終了出来ました。4全倍の作品は3辺の合計が200cmを超えるので佐川急便で返送しました。
7. 会場では記名帳、アンケート用紙、入会申込書、大判カメラ体験会案内を用意しました。大判カメラ体験会案内は田中会長の手で排除されました。よって大判カメラ体験会希望者に連絡が行かず本年行いません。
8. B5 データシートを作成するのは手間がかかるので廃止してほしい。出展作品目録に撮影者、題名、撮影地、撮影日、サイズ、備考がある。又作品にはキャプションがあり、これだけで十分と思えます。出展者のデータシートのコピーを会場に置き、希望者のみ閲覧できるようにすれば良いのではないのでしょうか。来年度から B5 データシートは作成しません。
9. 入賞者の金色プレート 6 作品分展示しましたが、展示会終了後、3作品分回収できませんでした。来年度不足分再作成する必要があります。手間の掛かる作業です。
10. 今年度の作品題名に16 文字がありました。来年度からは 10 文字以内とします。運営委員会で決定しました。
11. 自家処理作品のなかにノミネート以外の作品が展示されていました。ノミネートされた作品はイメージサークルの記事に掲載したので、代替作品が出展されました。
12. 作品集を発行して欲しいとの要望がありましたが製作費が高くなるので発行しません。
13. 受付にもっと人を増やしたら良いのではないかと意見がありました。
14. 自家処理作品の出展者が欠席していたので、意見が聞けなかった。

15. 会計 田中俊寛会員から『日本大判写真展』2021 収支仮締(4月12日現在)が報告されました。



展示作業

『日本大判写真展』2022 について

『日本大判写真展』2022 の会場日時が決まりました。

展示会場: 京都市京セラ美術館 本館
208号、209号

搬入: 2022 年3月14日(月) 14:00~18:00
3月15日(火) 10:00~14:00

展示: 3月15日(火) 14:00~18:00
3月16日(月)~3月20日(日)
10:00~18:00

最終日は 16:00 まで

搬出: 3月20日(日) 16:00~18:00
3月21日(月) 10:00~14:00

WORD 講習会受講について

末永会員が WORD の講習会受講を希望しています。当会からの費用で受講していただきます。日本大判写真家協会事務局の仕事を実行するのに必要です。

5 月度研究会の案内

会長 田中 明

5 月度研究会は「日本大判写真展」2022 の応募要項について検討します。会員多数出席のこと。

日時: 令和3年 5 月 15 日(土) 13:30~17:00

場所: 大阪写真会館 4階 会議室

会員多数出席のこと。